

生徒会通信 第1号

軟式野球部 無念のサヨナラ負け 初戦で散る

5月27日（土）旭公園多目的グラウンド

1回戦（規定により5回で終了）

学校名	1	2	3	4	5	6	7	計
城北つばさ	2	0	1	5	0			8
刈谷東・通	3	4	0	1	1×			9

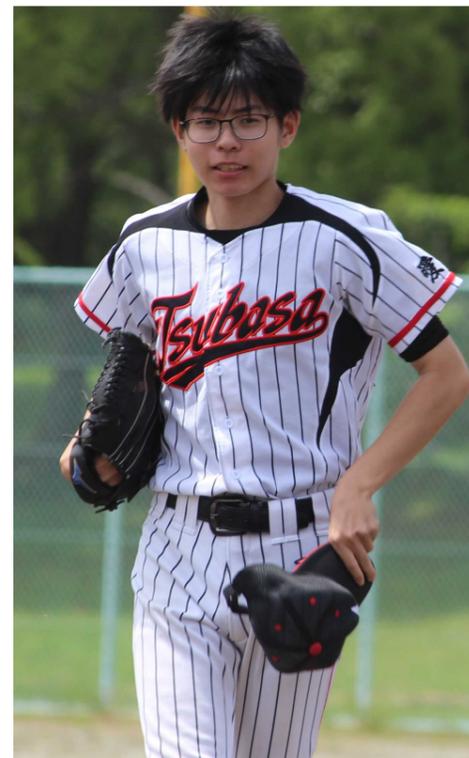
第74回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会軟式野球競技の第1日目が5月27日（土）に旭公園多目的グラウンドで行われ、本校は初戦で、刈谷東高校通信制と対戦した。

先攻の本校は、初回、制球に苦しむ相手投手から1番小松雷悟と3番山下京介が四球をもぎ取り、盗塁で1死2・3塁のチャンスを作ると、4番川合ゴッディが放った左飛を相手左翼手が落球し、幸先よく2点を先制する。その後も1死3塁のチャンスが続くが、後続が倒れて追加点とはならない。

するとその裏、先発の小松が2本のヒットでいきなり1点を失うと、1死からさらにヒットで同点とされ、暴投と四球で逆転を許して無死満塁のピン

チを迎える。ここでピッチャーを小松から森井璃玖にスイッチすると、後続を内野ゴロに打ち取り、なんとか1点差でこの回を切り抜ける。

早めに追いつきたい打線は2回、先頭の池田心斗が内野安打で出塁すると、続く加藤勇翔が内野ゴロで走者を進める。その後2死となるも、1番小松がこの日2つ目の四球を奪い、さらに盗塁で2死2・3塁のチャンスを作るが、あと1本が出ず同点に追いつくことはできない。



するとその裏、先頭にいきなり左越3塁打を放たれると、エラーとワイルドピッチで2点を失う。ここで森井から川合にスイッチするが、四球と適時打でさらに2点を失い、突き放される。

意地を見せたい打線は、3回に先頭の山下が四球で出塁すると、盗塁とワイルドピッチで1点を返し、さらに米山快、森井が連続四死球で1死2・3塁のチャンスを作るが、やはり後続が続かず、1点止まりとなる。

ようやく打線が繋がったのは4回。先頭が四球で出塁すると、1番小松がライト線に技ありの安打を放ち、さらに立道勇斗が

四球で出塁して無死満塁のチャンスを作る。するとそこから、3番山下が押し出しの四球を選んで1点を返すと、ワイルドピッチで1点を追加し、4番川合の内野ゴロの間にさらに1点を加えると、5番米山が中越適時2塁打を放ち、ついに同点に追いつく。さらに敵失で逆転に成功するがその裏、四球と安打ですぐさま同点に追いつかれてしまう。



勝ち越したい打線は最終回、先頭の小松が四球を選び、この日4度目の出塁を果たすと、2番立道も四球を選び、盗塁で無死2・3塁と絶好のチャンスを作るも、クリーンナップが倒れ、さらに走塁ミスも重なりまさかの無得点に終わる。

するとその裏、1死から四球と安打で1死2・3塁とされると、最後は中



前適時打を打たれて無念のサヨナラ負けとなった。（文責：鈴木貴之）